



▲ 森田町長に受賞を報告する片木 威 社長 (右側)

産官連携で開発奨励賞を受賞

大山町に進出している株式会社片木アルミニウム製作所(本社：大阪府泉南市)が、鳥取市の大村塗料株式会社、県産業技術センターと共同で「OKシート」(プリント基板ドリリング用潤滑エントリシート)の開発に成功し、このたび社団法人日本アルミニウム協会から開発奨励賞を受賞しました。

IT機器の小型化や集積化に対応したプリント配線板への穿孔性を改善するこのシートは、潤滑性に優れ、精密な穿孔とともにドリルの寿命を延ばします。また、シート表面に塗布された滑剤は天然樹脂カルナバロウを主成分とし、水で簡単に洗浄でき環境にやさしいのが特徴です。

低コストでリサイクル性が高いことやドリル先端の低負荷化により、安定した加工精度が得られるとあって業界からの注目が集まっています。

このOKシートは大山工場で製造されています。

バラの花 今年も届く



父の日にバラを贈ることを習慣にしておらうと、米子地区花き生産者協議会バラ部会がバラ生産者の住む市町村に、バラの花を贈ってPRしています。

6月16日、今年も生産者を代表して、部会長の大原広巳さん(所子)から森田町長にバラの花束と花かごが贈られました。

大原さんは「切りバラでは、大山町は県内1位の生産量。苦勞も多いがやりがいもあります。景気は良くないですが、バラの花を愛でて和んでもらえたらうれしいです」と話していました。



▶ バラの花束を渡す大原さん(右側)

心を静めて集中!



りました。この大会は弓の名手といわれた名和長年公の功績を顕彰して行われています。

今年も県内各地から130人が参加し、日ごろの練習の成果を披露。大山町からは一般女子の部で佐藤容子さん、高校女子の部では本田真理果さん、坂田亜未さんが出場し、坂田さんは個人3位・団体1位と健闘が光りました。

焼きいも、できるかな? 秋の収穫を楽しみに

〜高麗保育所、ストーク作業所の畑へ〜

6月21日(月)、平田にあるストーク作業所の畑で、高麗保育所の年長児11人が、サツマイモの苗の植え付け作業を行いました。

子どもたちは畑で長靴にはきかえたあと、植え方の説明を聞き、さっそく苗植えに挑戦。ストーク作業所に通うみなさんと「おいしく育つてね」「大きくなつてね」と、泥だらけになりながら、ひとつひとつ丁寧に苗を植えました。

畑には、ひと目でわかるよう高麗保育所の看板をたててもらい、みんなで記念撮影をしました。



た。収穫までの間、子どもたちは水やりなど世話をしながらサツマイモの管理を行うとのこと。秋の収穫を楽しみにしていました。